

6月定例会（6月4日～16日の13日間）では、町執行部側の業務負担を軽減し新型コロナウイルス感染症対策に専念できるよう、各議員が一般質問を自粛。新型コロナウイルス感染症関連の補正予算など20議案と諮問1件が上程され、すべて原案のとおり議決しました。

令和2年
6月定例会



本会議におけるすべての発言は「会議録」として記録されています。QRコードがインターネットで「小川町議会 会議録」と検索してください。
※6月定例会分は8月末頃から見られます



議員が質した
聞いてわかった

新型コロナウイルス感染症関連 町独自事業に注目

私たちの町、
いまどうなってる？
これからどうする？



Pick up!

小川町民なら
知って
おきたい！

4 項目

国の第一次補正予算を受けて、町ではスピード感をもって対応。町独自事業を中心に、質疑をピックアップしました。

感染拡大
防止応援金

1店舗 5万円

持続化給付金の
対象外事業者

1社 10万円

全児童生徒に
情報端末

1人に 1台

健康
ウォーキング

1000円の
地域通貨券

「Withコロナ」に直面した 飲食店…厳しい現実に支援策を

Q 感染拡大防止策の協力を得るために、飲食店への支援策はどのように講じていくのか。
A 「新しい生活様式」に基づ

き、それぞれの店舗に個々の実情に合わせた感染拡大防止策をとっていただきます。「宣誓同意書」等の提出をいただいた協力



レジ前に飛沫感染防止の透明のビニールシートを取り付けた飲食店。店主から「本当にありがたい応援給付金です。助かりました」との言葉

コロナ×避難所

Q 昨年の災害において定員オーバーの避難所等が生じた。彩の国「新しい生活様式」に対応した避難所等の運営はどのようにしていくのか。
A 避難者数が少なかった箇所への誘導を周知していきます。入口において検温と消毒を実施します。室内ではソーシャルディスタンス（社会的距離）を保ち、こまめな換気をするなど、衛生

コロナ×事業者

Q 町内事業者へどのような支援を行うのか。
A 中止が決定した七夕まつり事業補助金等を財源に、町内事業者への支援を行います。感染症の影響により売上高が減少（前年同月比20%以上50%未満減）、持続化給付金の給付対象にならない事業者に対し、1社あたり10万円を給付します。

職員のテレワーク環境

Q 現状と今後の利活用は。また、住民サービスは低下しないか。
A 平成30年から多様な勤務形態として災害時の対応等を考慮し試行しています。職員1人がテレワークを行っており、コロナ対策に有効だったことから、今後、50人分の環境を整備します。住民サービスに関しては、不便を感じることがないよう努力します。

キャッシュレス決済

Q 感染症対策として、どのように関連していくのか。
A スマートフォン等で決済できるよう、便利な納税手段を拡充していきます。コンビニや庁舎窓口での支払いを少なくすることで、感染症のリスク軽減につながると考えています。

Yes

まだ使っていませんが、減った残業代の不足分に使う予定です。（S・Sさん 31歳）

Yes

生活費に消えるパターンですね。家族で外食に行けたらいいかな。（S・Tさん 35歳）

Vol.11

給付金、
町で使った？
何に使った？

Mini Interview

間×コナ

オガワマチのこと・ギカイのこと
「一緒に見よう、考えよう」



小川町議会だよりは

写真に「タワル」

写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション（写真説明）も工夫します。